

花の便りも伝わる今日この頃、今年度もいよいよ残りわずかとなりました。

今年度も多くの方々に子ども支援室を利用させていただきました。

また、子ども理解講座や子ども支援研修会も動画配信やオンラインでの開催により、多くの方々に参加していただくことができました。今後もすべての子どもたちが健やかに自分らしく成長していくためのお手伝いが少しでもできればと考えています。

来年度も、御理解・御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度（2月末現在）

相談延べ件数3,954件

（昨年度同時期4,050件）

実人数 463人

（昨年度同時期 504人）

【実人数の段階別内訳】

段 階	人数	割合
乳幼児（0～6歳）	102人	22%
小 学 生	261人	56%
中 学 生	70人	16%
高校生以上	30人	6%
合 計	463人	—

令和6年度 子ども理解講座（保護者、関係職員対象）

☆テーマ：『子どもが成長する関わり方』

講師：梅花女子大学心理こども学部教授 今井 正司氏

動画配信期間 7月20日～8月30日（20分程度×3本の動画で配信）

○誰にでも心のクセ（思考や行動のクセ）があることに気づき、自分のクセを客観的な視点で見る方法を教えていただきました。ありのままの自分に気づき、自分の心のクセと上手に付き合う方法を見つけられたのではないのでしょうか。

令和6年度 子ども支援研修会（関係職員対象）オンライン

第1回

☆テーマ：「学習障害の理解と合理的配慮の実践」 6月12日

講師：子どもの発達科学研究所 副所長・主任研究員 大須賀 優子氏

【感想】・苦手なところだけにスポットを当ててではなく、ICT など使えるものは利用すること、苦手に合わせて修正し、できる課題として提示していくことなど多くのことを御示唆いただいた。

第2回

☆テーマ：「発達障害と愛着の課題の理解と対応 ～具体的事例を参考に～」 11月20日

講師：子どもの発達科学研究所 副所長・主任研究員 大須賀 優子氏

【感想】・愛着というものが、安定した対人関係や自立的情動コントロールの基盤、社会的行動の基盤、トラウマの防波堤など、その後の成長の土台になっていることを学んだ。虐待によるトラウマは社会的・精神的な健康に影響を与え、安定した社会生活を築くことが難しくなると分かった。